

# 用語解説

<b>3R</b> (スリーアール)	廃棄物の発生抑制（Reduce：リデュース）、再使用（Reuse：リユース）、再生利用（Recycle：リサイクル）の総称
<b>6次産業化</b>	農林漁業者等が必要に応じて農林漁業者等以外の者の協力を得て主体的に行う、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組
<b>8050問題</b> (ハチマルゴーマルもんだい)	80歳代の高齢の親と、働いていない独身の50歳代の子とが同居している世帯に生じる社会的孤立等の問題
<b>AI</b> (エーアイ)	人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム。具体的には、人間の使う自然言語を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするコンピュータプログラム等のこと
<b>AR・VR</b> (エーアール・ブイアール)	ARはAugmented Reality（拡張現実）の略。現実空間に重ね合わせて画像等の情報を映し出し、目の環境に情報を付加した体験ができる技術 VRはVirtual Reality（仮想現実）の略。仮想空間にいるような没入感が体験できる技術
<b>BCP</b> (ビーシーピー)	事業継続計画（Business continuity plan）の略称。企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと
<b>BPSD</b> (ビーピーエスディー)	認知症の行動・心理症状（Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia）のこと。認知症患者に頻繁に見られる知覚、思考内容、気分、行動の障害の症候。代表的な行動症状は、徘徊、不穏などであり、心理症状は幻覚、妄想などである
<b>eスポーツ</b> (エースポーツ)	エレクトロニック・スポーツ（Electronic Sports）の略称。パーソナルコンピュータ（PC）ゲーム、家庭用ゲーム（家庭用ゲーム専用機でプレイするゲーム）、モバイルゲームを用いて行われる対戦型ゲーム競技（スポーツ）
<b>FSC</b> (エフエスシー)	森林管理協議会（Forest Stewardship Council）が運営する国際的な制度の略称。適切な森林管理が行われていることを認証する「森林管理の認証（FM認証）」と、森林管理の認証を受けた森林からの木材・木材製品であることを認証する「加工・流通過程の管理の認証（CoC認証）」の2種類の認証制度
<b>GAP</b> (ギャップ)	農業生産工程管理（Good Agricultural Practice）の略称。農業生産において、食品安全や環境保全、労働安全に継続的に取り組み、結果として、農産物の品質向上、経営効率化、競争力強化等を促進
<b>ICT</b> (アイシーティー)	情報通信技術（Information and Communication Technology）の略称。情報処理及び情報通信に関連する諸分野における技術・産業・設備・サービス等の総称
<b>IoT</b> (アイオーティー)	モノのインターネット（Internet of Things）の略称。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと
<b>MaaS</b> (マース)	ICTを活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつながる新たな「移動」の概念

<b>M E L</b> (エムイーエル)	水産エコラベル (Marine Eco-Label Japan) 認証の略称。水産資源や生態系などの環境にやさしい方法で行われている漁業や養殖業を認証
<b>M I C E</b> (マイルス)	企業等の会議 (Meeting)、企業等の報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関等が行う国際会議 (Convention)、イベントや展示会等 (Event/Exhibition) の総称
<b>R C E P</b> (アールセップ)	東アジア地域包括的経済連携 (Regional Comprehensive Economic Partnership) の略称。ASEAN10か国 + 6か国 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) が交渉に参加する広域経済連携
<b>S D G s</b> (エスディーゼーズ)	持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals=SDGs)。2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っている
<b>Society 5.0</b> (ソサイティーゴーテンゼロ)	サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会
<b>STEAM教育</b> (スティームきょういく)	科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術 (Art)・リベラルアーツ (Arts)、数学 (Mathematics) を総合的に学習する教育手法
<b>TEAM BEYOND</b> (チームビヨンド)	障害者スポーツを応援する人を増やし、スポーツをする人も、観る人も、支える人も、あらゆるメンバーが一つのチームとなって障害者スポーツを盛り上げていくため、2016年度から東京都が展開しているプロジェクト
<b>T P P 11</b> (ティーピーピーイレブン)	環太平洋パートナーシップ (T P P) 協定について、11か国 (日本、オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、ベトナム) の間で一部条文を除く同協定の内容を実現するための協定
<b>R E 100</b> (アールイーヒャク)	Renewable Energy 100% (リニューアブルエナジーヒャクパーセント) の略称。企業の事業活動に用いる電力をすべて再生可能エネルギー由来の電力にすることを目標に掲げた国際イニシアチブ
<b>Z E V</b> (ゼブ)	走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない自動車 (Zero Emission Vehicle)。電気自動車 (E V)、プラグインハイブリッド自動車 (P H V) ※、燃料電池自動車 (F C V) のこと ※EV走行時
<b>アグリイノベーション</b>	農業のスマート化、農林水産物の高付加価値化の技術革新の実現による、従来技術では成し得なかった農林水産業の変革
<b>エコシステム</b>	ベンチャー企業や大企業、投資家、研究機関など、産学官の様々なプレイヤーが集積又は連携することで共存・共栄し、先端産業の育成や経済成長の好循環を生み出すビジネス環境を、自然環境の生態系になぞらえたもの
<b>遠隔医療</b>	I C Tを活用した健康増進・医療・介護に資する行為

<b>オープンデータ</b>	機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開するデータ
<b>温室効果ガス</b>	人の活動に伴って排出される二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素等の7種類のガス
<b>関係人口</b>	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと
<b>規制のサンドボックス</b>	I o T、ブロックチェーン、ロボット等の新たな技術の実用化や、プラットフォーム型ビジネス、シェアリングエコノミーなどの新たなビジネスモデルの実施が、現行規制との関係で困難である場合に、新しい技術やビジネスモデルの社会実装に向け、事業者の申請に基づき、規制官庁の認定を受けた実証を行い、実証により得られた情報やデータを用いて規制の見直しに繋げていくこと
<b>キャッシュレス</b>	現金（紙幣・硬貨）を使用しなくても活動できる状態を指すこととされている。キャッシュレス支払い手段の例として、クレジットカードや電子マネー、モバイルウォレット等が挙げられる
<b>コンパクトシティ</b>	高密度で近接した開発形態、公共交通機関で繋がった市街地、地域のサービスや職場までの移動の容易さ、という特徴を有した都市構造
<b>自然増減</b>	一定期間における出生数から死亡数を差し引いた人数の増減。プラスの場合を自然増、マイナスの場合を自然減という
<b>社会増減</b>	一定期間における転入者数から転出者数を差し引いた人数の増減。プラスの場合を社会増、マイナスの場合を社会減という
<b>就職氷河期世代</b>	日本のバブル経済崩壊後、大規模な就職難となった概ね1990年代前半から2000年代前半に就職活動を行った世代。概ね1970年代前半から1980年代半ば生まれとされる
<b>植物工場</b>	施設内の温度、光、炭酸ガス、養液などの環境条件を自動制御装置で最適な状態に保ち、作物の播種、移植、収穫、出荷調整まで、周年計画的に一貫して行う生産システム
<b>スタートアップ企業</b>	新たなビジネスモデルを開発し、市場を開拓する段階にある創業から数年の企業
<b>スマートグリッド</b>	電力の利用効率を高めたり、需給バランスを取ったりして、電力を安定供給するための新しい電力送配電網のこと。スマートグリッドの構築は、再生可能エネルギーを大量導入するために不可欠なインフラのひとつ
<b>スマート工場</b>	I o Tや人との協働ロボットを取り入れたりするなどして、より効率的なものづくりを実現した工場
<b>スマート農林水産業</b>	ロボット技術やI C T等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農林水産業
<b>スマートモビリティ</b>	環境やコストに配慮しながら、円滑で快適な移動を実現するシステム

<b>ゼロエミッション</b>	持続可能な社会を築くために、省エネ化や大幅な再生可能エネルギーの利用によりCO <sub>2</sub> 排出量を最小化しようとする動きのこと
<b>空飛ぶクルマ</b>	電動・垂直離着陸型・無操縦者航空機などによる、身近で手軽な空の移動手段
<b>ソーシャルアントレプレナー</b>	社会的企業家。社会的課題の解決にビジネスとしての手法を活用し、事業として取り組む企業家。事業形態は、株式会社、NPOなど様々
<b>ソーシャル・インクルージョン</b>	全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う社会 『『社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会』報告書』／2000年（厚生省（現・厚生労働省））より引用
<b>デジタルガバメント</b>	行政サービスや行政基盤等が全て電子化され、デジタル社会に対応している行政のこと
<b>鉄道混雑率</b>	輸送人員の輸送力（車両定員×通過車両数）に対する割合。 「鉄道混雑率180%」とは、体は触れるが折りたたむなど無理をすれば新聞を読める程度の混雑状況
<b>テレワーク</b>	情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。働く場所によって、自宅利用型テレワーク（在宅勤務）、モバイルワーク、施設利用型テレワーク（サテライトオフィス勤務など）の三つに分類
<b>特定技能</b>	2019年4月に創設された外国人の新たな在留資格。14の産業分野において、相当程度の知識又は経験を必要とする技能を要する業務に従事する「特定技能1号」と、熟練した技能を要する業務に従事する「特定技能2号」の2種類
<b>パリ協定</b>	2015年に国連の会議（COP21）で採択された、京都議定書に代わる温室効果ガス削減のための新たな国際枠組み
<b>ビジネスジェット</b>	企業・団体又は個人が商用目的で利用する航空運送
<b>ビッグデータ</b>	膨大かつ多様で複雑なデータのこと。スマートフォンを通じて個人が発する情報、カーナビゲーションシステムの走行記録など、日々生成されるデータの集合を指し、単に膨大だけでなく、非定型でリアルタイムに増加・変化するという特徴がある
<b>フレイル</b>	加齢とともに、心身の活力（例えば筋力や認知機能等）が低下し、生活機能障害、要介護状態、そして死亡などの危険性が高くなった状態。適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能
<b>マイ・タイムライン</b>	個人が災害発生までの行動を時間軸に沿って整理するもの
<b>ユニコーン企業</b>	企業価値又は時価総額が10億ドル以上となる、未上場のベンチャー企業
<b>ラウンドアバウト</b>	車両の通行部分が環状となっている交差点で、道路標識等により車両が右回りに通行すべきことが指定されているもの
<b>リカレント教育</b>	生涯学習を実現するために行われる義務教育以後の包括的な教育であり、青少年期に集中していた教育を個人の全生涯にわたって、労働、余暇など他の諸活動と交互に行う形で分散させること